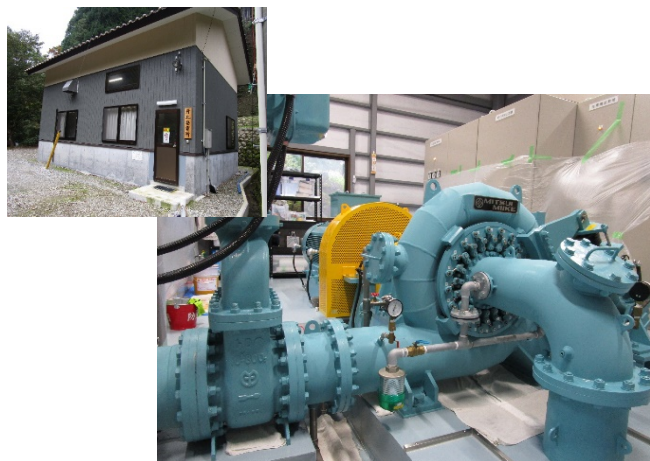


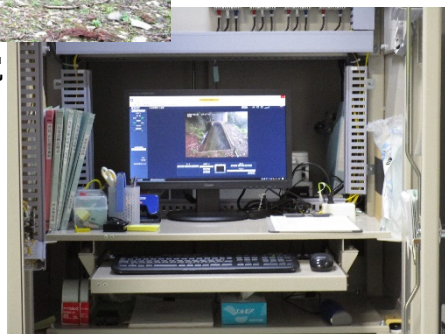
十分な高低差を活用し少雨時期でも一定の発電量が可能



発電施設の外観と水車



落差95mから発電施設内に流入



水路のライブ映像

<概要>

- 事業実施主体：八東町電化農業協同組合
(鳥取県八頭郡)
- 発電設備：小水力発電
発電出力 188kW
発電電力量 138万 kWh/年
- 建設費：約371百万円
- 運転開始時期：平成31年2月

<特徴>

- 地域内の農家等（806戸）で構成された協同組合が管理運営を行っており、施設の内外にライブカメラを設置して、常時スマホ等から確認が可能。
- 導水路と発電施設の落差約95mを利用して、少雨時期のわずかな水量でも十分な電力量を確保。
- 施設の建設に当たっては、民間事業者の100%融資で対応。
- 売電収入の活用方針は、まずは管理費と借入金の返済に充当することを考え、余りは公園や農道の補修、地域内施設の維持管理費へ。
- 今後の課題としては、施設の維持等のため若手リーダーの育成。

※農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業（H27・28）において支援